福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	空家対策事業							事業コード	020101530144		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立				
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931		
事業担当	所属	020300 市民生活部まちづくり推進課				所属長	片岡 まり子				
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	01一般管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	57	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市空家等対策計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法、福知山市空家等の適正管理に関する条例										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	空家安全対策事業（R7年度に本事業へ統合）										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 居住やその他の使用がされず長期間にわたり放置された空家等が増加しており、今後も増加する見込みである。 これらの空家等の一部は、倒壊等の危険、公衆衛生の悪化等を引き起こす恐れがあるとして社会問題となっている。 問題解決のために、社会ニーズや社会情勢の変化を踏まえ、空家等対策を推進する必要がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 管理されていない空家等の所有者（相続人）は相続登記が行われていない場合も多く、すぐに特定できず、所有者（相続人）へ対応依頼を行うにあたり時間を要する場合が多い。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 適切な管理がされず長期間にわたり放置されている空家等についての調査結果から、福知山市空家等対策協議会で対策の方向性等について意見を伺い、空家対策を進める。 所有者等に対して、状況に応じた空家等の適切な管理に必要な助言・指導、勧告等を行い、住環境の整備を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 福知山市空家等対策協議会を開催し、特定空家等認定や空家等対策計画の推進等について協議する。 管理が不適切な空家等の所有者等への情報提供をはじめ助言や指導を行い、適正な管理を促す。 協定を締結している団体の協力により、専門的な知識をもった相談員による無料相談会を開催する。

対象者	市民及び市外在住の市内建築物所有者	対象者数	74,513	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	（株）高尾組					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報酬	71	空家等対策協議会委員報酬	負担金補助及び交付金	36	行政管理オンライン講座　参加負担金
旅費	30	空家等対策協議会委員旅費費用弁償			
需用費	115	消耗品			
役務費	728	郵送料、相続財産清算人選任申立予納金			
委託料	99	緊急安全措置(西谷)			
備品購入費	11	デジタル水平器			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	459	1,488	1,217	0
	② 補正予算	288	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	747	1,488	1,217	
予算財源内訳	① 一般財源	747	1,488	1,217	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	△ 252		
	② 配当予算	747	1,236		
	③ 執行額	532	1,090		
	④ 執行率	71.2%	88.2%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.81 / 0.30	0.95 / 0.50	/	/
	② 概算人件費	7,320	9,000		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		7,852	10,090		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	－	－	2	5		
	「管理不全空家等」認定数	目標値		－	－	3	3	3	
		達成度	%	―	―	67%	167%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	1	2	2	2		
	空き家無料相談会の開催	当初見込		1	2	2	2	2	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	福知山市内の空き家の所有者を対象に、協定を結んでいる専門団体から相談員を派遣いただき、費用負担なしで相談会を年2回開催する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	－	5	9	6		
	同一空家等に対する3回以上の助言・指導数（3度目の発生年度で整理）	目標値		－	4	4	4	4	
		達成度	%	―	125%	225%	150%	0%	
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	－	24	21	29		
	情報提供・指導・助言文書の発送数（新規物件で1年以内の発送数）	当初見込		－	20	20	15	10	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	相談者の相談内容をもとに現地調査を実施したうえで、空家等の所有者等に対し懸念される事項について情報提供・指導・助言を行う。 所有者等からの相談に対し、維持管理・売却・解体など希望される方針に応じて必要な情報を提供する。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	周辺住民等から苦情・相談を受けた管理が不適切な空家等は、所有者を捜索して周辺住民等からの連絡・相談事、空家の現況写真、懸念される事項等情報提供することで適正な管理を促している。適正な管理が実施されるまで情報提供を行うことで、一定数の所有者には空家等の管理についての必要性を認識いただいている。 ただし、様々な事情により所有者による管理が困難な物件もあり、こうした物件を減少させる方策が必要である。 空家等の増加抑制は、行政による除却や対応だけでは困難であり、所有者等や将来の相続人を含む啓発などをさらに進める必要がある。
現状の課題に対する改善策	・所有者等による問題解決を図る際の支援について先進地事例を参考に検討する。また、個人の資産である空家に対する行政の関与と、市民の生活環境の保全とのバランスの取れた方法を引き続き検討していく。 ・所有者本人だけでなく将来の相続人も含めた「元気なうちからみんなで家の未来を考える」ことについて効率的な啓発活動を進めていく。 ・管理不全空家等への対応や放置した際のリスクなどについての広報や所有者等への情報提供を行い、早期に改善することが所有者にとって負担が少なくなることを周知徹底する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	戸籍振り仮名事業							事業コード	020301202501	
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立			
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931	
事業担当	所属	021400 市民生活部市民課				所属長	大島 司			
会計情報	款	02総務費	項	03戸籍住民基本台帳費	目	01戸籍住民基本台帳費	会計	01 一般会計	決算附属資料	88 頁
計画期間	開始年度	令和7年度	終了予定年度	令和9年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	戸籍法、住民基本台帳法、マイナンバー法									
事業区分	☑ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	戸籍等事務事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 令和9年度からマイナンバーカードに氏名のローマ字表記をするため、令和7年5月26日から戸籍・戸籍の附票・住民票に氏名の振り仮名を記録・公証することが法定された。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 住基データによる氏名の振り仮名を戸籍に仮登録し、本籍人に通知する。 氏名振り仮名届を受付し、戸籍・戸籍の附票・住民票に記録し公証する。 届出された氏名振り仮名のデータを住基システムに通知したり、法務省の戸籍情報連携システムに送信する。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） マイナンバーカードの利用促進のため。 戸籍事務、住基事務を円滑に進めるため。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 氏名の振り仮名の通知書の作成業務委託・郵送 氏名の振り仮名届の相談・受付・審査 戸籍と住民票への振り仮名入力 戸籍振り仮名事務センター設置 旧氏・旧氏の振り仮名対応に係る住基システム・戸籍システム改修

対象者	本籍人91,390人+住民74,558人(R6.10.31)	対象者数	165,948	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	富士フイルムシステムサービス株式会社、株式会社フルキャスト				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	60	消耗品費			
役務費	3,858	振り仮名センター通信料、通知ハガキ郵送料			
委託料	11,449	振り仮名センター委託業務ほか			
使用料及び賃借料	264	戸籍システムクラウド使用料			
備品購入費	1,709	振り仮名センター用戸籍システム端末増設ほか			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	0	30,752	0	0
	② 補正予算	0	△ 5,969	0	0
	③ 繰越予算	0	△ 4,465	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	△ 4,465	0	0
	小計（①～③）	0	20,318	0	
予算財源内訳	① 一般財源	0	4,622	0	
	② 国支出金	0	15,696	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	△ 858		
	② 配当予算	0	19,460		
	③ 執行額	0	17,340		
	④ 執行率		89.1%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.00 / 0.00	1.08 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	0	8,640		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		0	25,980		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	社会保障・税番号制度システム整備費補助金	総務費国庫補助金	12,344	14	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―	―	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	―	―	―	68		
	氏名振り仮名事務センターの問合せ対応件数	当初見込		―	―	―	13700	300	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	令和7年7月に振り仮名通知を発送し、その問合せ対応を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	予算作成時においては、振り仮名通知を送付後に届出がされない方について、届出を勧奨するための業務（振り仮名通知の再送等）を行うよう国が方針を示していたが、国の方針転換により通知の再送等を行わないこととなったため問い合わせが想定よりかなり少なかった。 令和8年度においては、振り仮名通知後に振り仮名の修正等の届出が無かった方において、令和8年5月下旬以降に本籍地で仮登録していた振り仮名が順次戸籍に記載され、その振り仮名が住民票にも記載されることとなるため、戸籍及び住民票を取得された方からの問い合わせが増加すると見込まれる。
現状の課題に対する改善策	問い合わせに対する案内について、研修等により窓口担当、戸籍担当、住民登録担当間での意思統一図る必要がある。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	マイナンバーカード交付等推進事業						事業コード	020301810250		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	3 生活基盤の確立				
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備					施策コード	931		
事業担当	所属	021400 市民生活部市民課			所属長	大島 司				
会計情報	款	02総務費	項	03戸籍住民基本台帳費	目	01戸籍住民基本台帳費	会計	01 一般会計	決算附属資料	89 頁
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律									
事業区分	☑ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 デジタル社会の形成に向け、その基盤となるマイナンバーカードの普及促進は重要であり、マイナンバーカードに関する申請、交付、運用に関する事務を行う必要がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・市役所へ来庁するのが困難な方などに対して、申請しやすい機会の創出。 ・来庁回数の負担軽減や申請時に必要な写真撮影の経費削減。 ・支所でもマイナンバーカードの手続き全般に対応して、窓口の混雑を分散する。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 社会保障・税番号制度は、社会保障制度及び税制における給付と負担の適切な関係の維持や申請、届出、その他の行政手続きの合理化、国民の利便性の向上に資するものである。市民課では、制度の根幹となるマイナンバーの付番やマイナンバーカードの申請・交付及び運用に係る事務を行う。 また、商業施設や個人宅等へ出向く出張申請窓口を開設するなど、マイナンバーカードの申請機会を拡大し、マイナンバーカードの取得を促進する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・マイナンバーカードの申請・交付及び運用に係る事務。 ・商業施設等や個人宅等に出向き出張申請窓口を開設。 ・申請時来庁方式の活用や、市役所で写真撮影を行う。

対象者	福知山市民	対象者数	74,009	単位あたりコスト	0.7
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	株式会社ケーケーシー情報システム				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	406	消耗品費（事務用品等）、燃料費、印刷製本費（広報ふくちやま）			
役務費	616	通信運搬費（電信・電話料等、郵送料）、広告料（新聞掲載料）			
委託料	3,445	維持管理業務（保守）			
使用料及び賃借料	2,520	電子計算機等賃借料（マイナンバーカード申請専用タブレット）、公用車賃借			
備品購入費	2,039	その他機械器具等（マイナンバーカード等印字システム）			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	19,137	9,561	10,415	0
	② 補正予算	△ 5,792	0	0	0
	③ 繰越予算	△ 1,848	1,848	0	0
	前年度繰越	0	1,848	0	
	次年度繰越	△ 1,848	0	0	0
小計（①～③）		11,497	11,409	10,415	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	11,497	11,409	10,415	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	△ 25		
	② 配当予算	11,497	11,384		
	③ 執行額	10,687	9,026		
	④ 執行率	93.0%	79.3%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.63 / 7.20	2.08 / 10.05	/	/
	② 概算人件費	33,200	44,780		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		43,887	53,806		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
マイナンバーカード交付事務費補助金	総務費国庫補助金	7,178	15	
マイナンバーカード交付事務費補助金（繰越明許分）	総務費国庫補助金	1,848	15	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	枚	51,698	59,844	66,975	77,476		
	マイナンバーカード累計交付枚数	目標値		76,568	67,924	67,234	70,309	70,309	
		達成度	%	68%	88%	100%	110%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	5	3	3	3		
	制度に関する広報	当初見込		3	3	2	2	2	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	広報ふくちやまに制度内容や申請方法の周知を行う								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	マイナンバーカード申請専用タブレットでの申請により、写真撮影に係る経費や申請書作成などの負担軽減ができている。 マイナンバーカードの受取りについても、交付時の再来庁を不要とする申請時来庁方式による交付も行った。 マイナンバーカードを受取っていない方へ受取勧奨通知を送付し普及促進に繋げた。 市職員が商業施設等に出向き申請窓口を開設したり戸別訪問を行うことにより、申請しやすい環境づくりに努めた。 マイナンバーカードの更新や電子証明書の更新者の増加が見込まれるため、待ち時間の短縮が課題となっている。
現状の課題に対する改善策	マイナンバーカードの必要性・重要性についての周知広報を行う。 マイナンバーカードの更新や電子証明書の更新者の増加に備え、統合端末の増設や郵便局への委託を検討し、窓口の分散化や混雑緩和を図るとともに、インターネットから受付予約を行うなど待たない窓口の実現をめざす。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	戸籍標準準拠システム化事業						事業コード	020301810284		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立			
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備					施策コード	931		
事業担当	所属	021400 市民生活部市民課				所属長	大島 司			
会計情報	款	02総務費	項	03戸籍住民基本台帳費	目	01戸籍住民基本台帳費	会計	01 一般会計	決算附属資料	90 頁
計画期間	開始年度	令和6年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	戸籍法、住民基本台帳法									
事業区分	☑ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	戸籍等事務事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 戸籍事務のシステムが自治体ごとにばらつきがある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 帳票の自治体ごとのばらつきの解消、システムの調達コストの削減。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」（令和3年法律第40号）に基づき、国民が行政手続において情報通信技術の便益を受けられる環境を整備するため、全国1,700自治体でばらつきのある戸籍システムの業務フローや利用機能、帳票を統一することで、調達コスト低減、IT関連人材不足の解消、住民サービス向上、行政の効率化を進めることを目的とする。現行の戸籍総合システム更改時期である令和6年10月末に合わせて、戸籍システムをクラウド化し、その後、国の標準仕様書に基づき共同化された標準準拠システムに移行する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 戸籍システムのクラウド化 戸籍システムの標準準拠システムへの移行

対象者	戸籍：福知山市に本籍のある人、住基：福知山市に居住する住民	対象者数	164,733	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	富士フイルムシステムサービス株式会社				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
委託料	8,998	システム改修業務委託			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		23,914	10,582	1,914	0
	② 補正予算		△ 10,736	△ 1,584	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			13,178	8,998	1,914	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		13,178	8,998	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		0	0	1,914	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		13,178	8,998		
	③ 執行額		13,178	8,998		
	④ 執行率		100.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.37 / 0.00	0.27 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		2,960	2,160		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			16,138	11,158		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	戸籍標準準拠システム化事業（デジタル基盤改革支援補助金）	総務費国庫補助金	8,998	15	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	【定性的評価】	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―	―	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	―	―	2	2		
	戸籍システム操作研修	当初見込		―	―	2	2	2	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	迅速かつ正確なシステム操作を行うため職員のシステムに対する知識を高めていく。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	〔評価〕 戸籍電算システムを利用し、業務が適切に、かつ、迅速で親切、丁寧、また、同様の住民サービスの提供が実施できている。 〔課題〕 迅速で、親切、丁寧な同様の住民サービスを提供するため、法改正が発生した場合は、速やかにシステム改修が可能となるように共同クラウドのメンテナンスを実施し続ける必要がある。
現状の課題に対する改善策	法改正時に迅速で速やかに対応できるようシステムベンダーと体制を整え、適切かつ正確・安全なシステムの運用管理を行う。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	斎場施設改修事業							事業コード	040103540560		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立				
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931		
事業担当	所属	021400 市民生活部市民課				所属長	松本 裕美				
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	03環境衛生費	会計	01 一般会計	決算附属資料	136	頁
計画期間	開始年度	平成8年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	墓地、埋葬等に関する法律										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☑ その他 （ 工事 ）										
関連事業	斎場火葬棟運営管理事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・斎場は、社会生活において必要不可欠な施設であり、「墓地、埋葬等に関する法律」に基づき、安定した火葬業務を提供している。 ・福知山市斎場は、平成8年6月の施設開設から29年が経過し、建物や設備の経年劣化が進行していることから、施設改修計画に基づき計画的な改修を実施している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・施設の老朽化が進行していることから、故人との最後のお別れの場にふさわしい施設環境を維持するため、計画的かつ継続的な施設・設備の改修を行う必要がある。 ・火葬件数の増加に対応し、安定した火葬業務を継続するため、火葬炉設備等の計画的な改修及び更新を行う必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・人生終焉の地にふさわしい施設として、葬祭棟・火葬棟に係る設備等の改修工事を実施する。 ・施設改修計画に基づき計画的・継続的な改修及び整備を行い、火葬業務に支障を生じさせない施設環境を維持する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・施設改修計画に基づき、建物及び設備の計画的な改修・更新を実施する。 ・施設の長寿命化を図るとともに、将来的な建替えも見据え、計画的かつ継続的に施設整備を進める。

対象者	斎場施設使用者	対象者数	20,000	単位あたりコスト	9.2	
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☑ その他 （ 工事請負 ）					
委託先・実施主体等	㈱宮本工業所、㈱能見土建、セイリョウ建設㈱、㈱カネヤ、㈲長田電工、㈱国栄建工					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
工事請負費	177,400	火葬炉設備改修工事、自家用発電機改修工事 ほか			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		140,587	184,100	22,500	0
	② 補正予算		△ 9,594	△ 6,105	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			130,993	177,995	22,500	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		124,400	168,800	22,500	
	⑤ その他特財		6,593	9,195	0	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		130,993	177,995		
	③ 執行額		130,992	177,400		
	④ 執行率		100.0%	99.7%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.75 / 0.20	0.79 / 0.20	/	/
	② 概算人件費		6,560	6,880		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			137,552	184,280		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	斎場施設改修事業基金繰入（公共施設等総合管理基金）	基金繰入金	9,000	37	
	斎場施設改修事業（旧合併特例）	衛生債	168,400	50	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―	―	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	1,115	1,102	1,069	1,041		
	火葬件数	当初見込		1,000	1,000	1,000	1,100	1,100	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	「墓地、埋葬等に関する法律」に基づき、火葬業務を適正に実施するとともに、葬祭棟等の施設を適切に維持管理し、斎場使用者へ提供する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・施設改修計画に基づき、第3期火葬炉大規模改修工事を完了し、火葬炉設備の機能維持及び安定した火葬業務の確保を図ることができた。 ・今後も施設の老朽化や火葬件数の増加が見込まれることから、火葬業務に支障を生じさせないよう、計画的な施設・設備の改修及び整備を継続していく必要がある。
現状の課題に対する改善策	施設改修計画に基づき、火葬炉設備及び建物設備の計画的な改修・更新を進めるとともに、日常点検及び定期メンテナンスを継続し、施設の長寿命化と安定した火葬業務の確保を図る。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	情報通信環境再整備事業							事業コード	020111140108		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立				
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931		
事業担当	所属	030500 市長公室DX推進課				所属長	石田 義郎				
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	11地域情報化推進費	会計	01 一般会計	決算附属資料	83	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	e-ふくちやま事業再整理基本計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 地域間情報格差の是正を目的とし、テレビ難視聴地域に対する地上デジタル放送再送信サービスや民間事業者の高速インターネット接続環境が提供されていない地域に対するインターネット接続サービスを提供する必要があった。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 平成30年度に終了したe－ふくちやま事業について、民営化に向けて財政支援を行う必要があった。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） テレビ難視聴地域に対する地上デジタル放送再送信サービスや民間事業者の高速インターネット接続環境が提供されていない地域に対するインターネット接続サービスを提供している「e－ふくちやま」事業について、将来的にも顧客ニーズにあった持続可能で安定したサービス提供を図るため、事業の民営化を行った。 本事業では、民間事業者によるサービス提供に対して財政支援を行い、地上デジタル放送等の情報通信環境基盤を適切に維持する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 平成30年度に終了したe－ふくちやま事業について、民営化に向けて市と基本協定を締結した㈱オプテージへ運営保守にかかる財政支援を行う。

対象者	e－ふくちやま事業サービス利用者	対象者数	2,919	単位あたりコスト	21.8
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	(株)オプテージ				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
使用料及び賃借料	10	福知山市移動通信用施設用地の土地使用料			
負担金補助及び交付金	61,500	情報通信環境再整備事業補助金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算	61,511	61,511	61,528	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)		61,511	61,511	61,528	
予算財源内訳	① 一般財源	101	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	61,410	61,511	61,528	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	61,511	61,511		
	③ 執行額	61,510	61,510		
	④ 執行率	100.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.41 / 0.00	0.25 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	3,280	2,000		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		64,790	63,510		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	土地建物貸付収入(DX推進課)	財産貸付収入	90	29	
	情報通信環境再整備事業基金繰入（地域振興基金）	基金繰入金	61,421	36	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	2,186	2,103	2,033	1,960		
	福知山市限定コース利用件数（3月末時点）	目標値		2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	
		達成度	%	95%	91%	88%	85%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	1	1	1	1		
	補助金交付	当初見込		1	1	1	1	1	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	「e-ふくちやま」事業で整備した情報通信環境において、テレビのみ視聴できる契約を行っていた住民に対して、e－ふくちやま事業の民営化後も同内容の「福知山市限定コース」を提供するよう、e－ふくちやま事業の民営化に関して市と基本協定を締結した㈱オプテージへ補助金の交付を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	●自己評価 民間譲渡後は、e-ふくちやま事業よりも多様で豊富なサービスが実現、かつ、安定して提供できている。 利用者に対しては、民間事業者によってインフラとサービスが統合的にサポートされることで、利便性が向上し、市の対応業務が大幅に軽減した。 ㈱オプテージ（旧社名：ケイオプティコム）との間で、令和10年度までの期間で、e－ふくちやま事業民営化に関する基本協定を結んでいる。 ●現状の課題 人口減少に伴い、福知山市限定コース利用件数の減少が続いている。
現状の課題に対する改善策	・協定締結相手方と協定期間満了後の対応について意見交換を始める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	住宅費一般管理事業							事業コード	080501530123		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立				
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931		
事業担当	所属	350300 建設交通部建築住宅課				所属長	大槻 勇次				
会計情報	款	08土木費	項	05住宅費	目	01住宅管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	178	頁
計画期間	開始年度	昭和28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務	☐ 国府補助事業	☑ 市単独事業	☑ 内部庶務的事業	☐ その他 （ ）						
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 市営住宅管理に係る業務や本市の建築工事の実施に関わる建築住宅課受任工事を実施するために、各種消耗品等の購入、公用車管理、電子計算機等の保守が必要である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 事務の適正・円滑な実施のために、事務内容の把握と分析が不可欠である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市営住宅管理業務や本課受任工事に係る事務を円滑で適正に実施することを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 市営住宅の維持管理に必要な物品の購入、住宅管理システムの更新、電子計算機の保守契約等 建築住宅課受任工事の実施に必要な物品購入、電子計算機の保守契約等 所管公用車の修繕・点検・リース

対象者	—	対象者数	—	単位あたりコスト	—	
実施方法	☑ 直接実施	☑ 業務委託	☐ 指定管理	☐ 補助金交付	☐ その他 （ ）	
委託先・実施主体等	㈱システムリサーチ					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報酬	40	市営住宅入居者選考委員報酬	備品購入費	41	絶縁抵抗計購入
旅費	94	地域住宅協議会、耐震改修促進会議ほか出席			
需用費	4,341	各種用度・物品購入、燃料費、書籍購入			
役務費	2,657	建物・自動車災害共済、郵送料、電話代			
委託料	660	市営住宅管理システム保守			
使用料及び賃借料	3,424	設計積算システム機器、公用車賃貸借料			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	16,003	10,922	27,173	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		16,003	10,922	27,173	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	17,935	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	4,600	0	0	
	⑤ その他特財	11,403	10,922	9,238	
決算情報	① 流充用額	292	390		
	② 配当予算	16,295	11,312		
	③ 執行額	15,801	11,256		
	④ 執行率	97.0%	99.5%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	2.30 / 0.50	3.30 / 1.00	/	/
	② 概算人件費	19,800	29,200		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		35,601	40,456		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	市営住宅使用料（過年度分）	土木使用料	3,061	9	
	府営住宅団地貸付収入	財産貸付収入	7,902	29	
	電柱類設置貸付収入（建築住宅課）	財産貸付収入	220	30	
	市営住宅太陽光発電売電料	雑入	73	46	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―	―	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	当初見込		―	―	―	―	―	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	定性的評価								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	市営住宅管理に係る使用料徴収、入退去管理及び受任工事の設計業務において使用する電子計算機を整備、維持管理しており、適正に維持管理が実施されたことで効率的な事務執行が行えた。【定性的評価】
現状の課題に対する改善策	電子計算機や公用車のリースについては、長期継続契約とすることで費用の縮減を図る。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	市営住宅管理事業							事業コード	080501530127		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立				
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931		
事業担当	所属	350300 建設交通部建築住宅課				所属長	大槻 勇次				
会計情報	款	08土木費	項	05住宅費	目	01住宅管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	178･179	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 市営住宅施設について、継続的な保守管理を要する。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと･最も直すべきところ 全般的に労務単価が上昇しており、今後、同規模の保守管理業務の実施に係る費用が増大するおそれがある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市営住宅の共用設備等の保守や住宅管理人の選定、敷地内の除草など市営住宅の住環境を良好に維持し提供する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段･手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 業者委託による市営住宅駐車場管理 業者委託による市営住宅周辺の除草剪定 業者委託による市営住宅設備（給水設備、消防用設備、エレベーター設備等）の保守点検 消火器購入　ほか

対象者	—	対象者数	—	単位あたりコスト	—
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先･実施主体等	市営住宅･駐車場管理人、三菱電機ビルソリューションズ㈱、㈱日立ビルシステム、高岡管工、(公社)福知山市シルバー人材センター、㈱西日本エスエスシーほか				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	1,352	市営住宅管理人報酬	備品購入費	341	消火器購入
需用費	19,602	市営住宅設備修繕料			
役務費	1,596	各種設備点検、廃棄物処分、ハウスクリーニング			
委託料	14,078	駐車場管理、消防設備、EV等点検、団地内除草			
使用料及び賃借料	243	駐車場用地賃貸借料			
工事請負費	8,883	市営住宅改修工事			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	14,870	45,280	54,095	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		14,870	45,280	54,095	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	14,870	45,280	54,095	
決算情報	① 流充用額	1,677	815		
	② 配当予算	16,547	46,095		
	③ 執行額	15,940	46,095		
	④ 執行率	96.3%	100.0%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	2.95 / 0.20	3.35 / 0.70	/	/
	② 概算人件費	24,160	28,760		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		40,100	74,855		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
市営住宅使用料（現年度分）	土木使用料	33,762	9	
団地内占用料	土木使用料	510	9	
団地内駐車場使用料（現年度分）	土木使用料	11,440	9	
団地内駐車場使用料（過年度分）	土木使用料	383	9	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―	―	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	当初見込		―	―	―	―	―	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	定性的評価								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 住民の生活に欠かせない設備等の保守点検や住宅の保守管理を効果的に実施したことで、設備の故障なく、故障が原因となる事故を未然に防止することができた。施設周辺の除草等の環境整備については、地域住民等と調整しながら実施することができた。 課題としては、全般的に労務単価が上昇しており、今後、同規模の保守管理業務の実施に係る費用が増大するおそれがある。
現状の課題に対する改善策	設備の保守管理は不可欠なものではあるが、設備自体の要不要を見極め、不要なものはすみやかに廃止・除去すること。 除草については、作業範囲や回数の縮減も検討していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	市営住宅改善事業							事業コード	080501530130		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立				
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931		
事業担当	所属	350300 建設交通部建築住宅課				所属長	大槻 勇次				
会計情報	款	08土木費	項	05住宅費	目	01住宅管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	179	頁
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市公営住宅等長寿命化計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	市営住宅修繕事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 経年劣化により公営住宅の建築、設備改修が必要となっている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 建築年度が同一の建物については、設備機器の更新時期が重なるため、費用が高額となる。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 福知山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、高齢化対応をはじめ、居住環境の改善を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 外壁改修工事 外灯LED化改修工事 ガス漏れ警報器取替工事 給湯器更新工事 給水ポンプユニット更新工事　ほか

対象者	市営住宅入居者	対象者数	1,300	単位あたりコスト	21.1
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	株式会社日立ビルシステム関西支社				

主な支出に係る業務内容と経費	費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
	委託料	386	団地内エレベーター法適合確認			
	工事請負費	10,384	団地内エレベーター法適合改修工事、ガス漏れ警報器取替ほか			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		90,520	31,100	27,400	0
	② 補正予算		△ 75,898	△ 20,329	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			14,622	10,771	27,400	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	10,350	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	7,800	11,600	
	⑤ その他特財		14,622	2,971	5,450	
決算情報	① 流充用額		0	△ 1		
	② 配当予算		14,622	10,770		
	③ 執行額		14,621	10,770		
	④ 執行率		100.0%	100.0%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		2.90 / 0.00	2.05 / 0.10	/	/
	② 概算人件費		23,200	16,680		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			37,821	27,450		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	市営住宅使用料（現年度分）	土木使用料	2,770	9	
	市営住宅改善事業（公営住宅建設）	土木債	8,000	52	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	戸	138	180	0	0		
	定性的評価	目標値		138	180	252	166	166	
		達成度	%	100%	100%	0%	0%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	戸	138	180	0	0		
	長寿命化改善内容の通知、周知	当初見込		138	180	252	166	166	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	外壁防水改修、設備機器の更新、照明LED化改修等								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	戸	136	108	160	51		
	ガス、火災報知器更新工事	目標値		146	108	172	51	175	
		達成度	%	93%	100%	93%	100%	0%	
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	戸	136	108	160	51		
	ガス、火災報知器更新の通知、周知	当初見込		146	108	172	51	175	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	保安器具の法定点検、更新								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	市営住宅の長寿命化や住環境の維持を行う上で必要な事業であり、市民サービス、満足度の向上にも繋がっているため計画的に、継続して実施する必要がある。
現状の課題に対する改善策	何れの改修も入居者の理解、協力が必要であるが、住戸内の改修においては断られる場合がある。 事業の内容や、必要性を十分に説明し理解が得られるよう努めたい。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	南佳屋野団地ほか建替事業							事業コード	080502202301		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立				
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931		
事業担当	所属	350300 建設交通部建築住宅課				所属長	大槻 勇次				
会計情報	款	08土木費	項	05住宅費	目	02住宅建設費	会計	01 一般会計	決算附属資料	179	頁
計画期間	開始年度	令和5年度	終了予定年度	令和21年度	関連計画名	福知山市公営住宅等長寿命化計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市公営住宅等長寿命化計画										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 福知山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化した市営住宅団地の建替を行う。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 今後の事業進捗によって、各地元自治会、入居者等の合意形成や周辺環境への配慮、また土地利用規制などが制約される。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 福知山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化した市営住宅団地の建替を行い、市民の安心・安全と居住水準の向上を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 老朽化した市営住宅南佳屋野団地、西佳屋野団地の統合建替を実施する。

対象者	市営住宅南佳屋野団地、西佳屋野団地入居者	対象者数	232	単位あたりコスト	81.4	
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	(公社)京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
委託料	5,278	意向調査業務			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算		1,650	6,000	4,000	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)			1,650	6,000	4,000	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		825	3,000	2,000	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		825	3,000	2,000	
決算情報	① 流充用額		0	△ 569		
	② 配当予算		1,650	5,431		
	③ 執行額		1,618	5,278		
	④ 執行率		98.1%	97.2%		
人工概算	① 従事職員数 (正職員 /会計年度任用職員)		0.50 / 0.00	1.70 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		4,000	13,600		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)			5,618	18,878		

主な利用特財 (R7年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	市営住宅使用料(現年度分)	土木使用料	2,678	9	
	南佳屋野団地ほか建替事業(社会資本整備総合交付金)	土木費国庫補助金	2,600	18	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	0	1	1	1		
	定性的評価	目標値		0	1	1	1	0	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%	―	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	0	0	5	2		
	南佳屋野まちづくりPTによる協議	当初見込		―	―	5	3	3	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	事業予定地の境界立会や確定、分合筆等								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	福知山市公営住宅等長寿命化計画に基づく建替事業であり、現在つつじが丘・向野団地建替でPFI方式によりVFMを見込んで実施中であるが、その民間活力を生かしたPFI方式も検討に入れつつ地元、関係課等と協議を進めていきたい。 令和6年度にて、事業予定地の境界や所有者、筆数等実施しないよう把握した上で、分合筆や地積更生をかけていきたい。 今後事業を進めるにあたって、周辺との街づくりも含めた事業として近隣住民や周辺自治会等の意見を集約してから課題整理をすすめていきたい。
現状の課題に対する改善策	現在つつじが丘・向野団地建替をPFI方式にて実施中であるが、この南佳屋野・西佳屋野団地建替についてもVFMが創出されることを考慮し検討することによりコスト削減に努めたい。また、近隣自治会との対話を繰り返し丁寧な説明で理解を求め、スムーズな事業進捗を図りたい。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	つつじが丘・向野団地建替事業							事業コード	080502530145		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立				
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931		
事業担当	所属	350300 建設交通部建築住宅課				所属長	大槻 勇次				
会計情報	款	08土木費	項	05住宅費	目	02住宅建設費	会計	01 一般会計	決算附属資料	180	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	つつじが丘・向野団地建替事業基本計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市公営住宅等長寿命化計画、PFI法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 福知山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、耐用年数を超過し老朽化した市営住宅団地の建替を行う。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 近隣住民、自治会への事業の理解や、入居者の引っ越し、スムーズな既存住宅の解体や余剰地の利用、また建設材料の物価高騰による受注額増について。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 福知山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、耐用年数を超過し老朽化した市営住宅団地の建替を行い、市民の安心・安全と居住水準の向上を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 老朽化したつつじが丘、向野団地の建替をPFI手法により実施する。 第2期棟と集会所の引渡しを受け、向野団地入居者の移転後に向野団地解体工事を行う。

対象者	つつじが丘・向野団地入居者	対象者数	150	単位あたりコスト	10,417.8
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	東レ建設株式会社京滋支店				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
委託料	1,539,742	既存住宅解体、B棟・集会所建設工事			
工事請負費	9,047	入居者移転に伴う空家改修工事			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	833,710	1,550,471	735,944	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		833,710	1,550,471	735,944	
予算財源内訳	① 一般財源	60	1,112	5,800	
	② 国支出金	359,240	207,888	318,000	
	③ 府支出金	0	39,000	0	
	④ 地方債	461,700	1,300,800	412,000	
	⑤ その他特財	12,710	1,671	144	
決算情報	① 流充用額	0	△ 599		
	② 配当予算	833,710	1,549,872		
	③ 執行額	832,156	1,548,788		
	④ 執行率	99.8%	99.9%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.75 / 0.05	1.70 / 0.10	/	/
	② 概算人件費	14,140	13,880		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		846,296	1,562,668		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	つつじが丘・向野団地建替事業（社会資本整備総合交付金）	土木費国庫補助金	207,888	18	
	つつじが丘・向野団地建替事業（公営住宅建設）	土木債	1,299,500	52	
	府負担金(府営住宅解体費)	土木費府負担金	40,423	21	
	市営住宅使用料（現年度分）	土木使用料	977	9	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—		
	定性的評価	目標値		—	—	—	—	—	
		達成度	%	—	—	—	—	—	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	11	4	10	4		
	地元協議、説明会（周辺含）	当初見込		12	12	12	12	12	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	地元自治会や入居者に対する、事業内容の積極的な説明や調整を実施。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	福知山市公営住宅等長寿命化計画に基づく建替事業であり、居住水準の向上のためにも重要な事業である。また、PFI手法による発注により、VFM効果とスムーズな進捗管理等、民間活力を最大限生かしたい。 令和6年度時点で、第2期棟の施工に着手している。今後事業を進めるにあたって、近隣住民、自治会への事業の理解や、入居者の引っ越し、スムーズな既存住宅の解体や余剰地の利用、また建設材料の物価高騰による受注額増についても課題ととらえている。
現状の課題に対する改善策	福知山市での初めてのPFI手法による事業なので、不安要素はあるがスムーズな進捗になるよう積極的な事業者との協議を図りたい。 近隣住民には、自治会をつうじて説明することにより理解を得るとともに、事業の遅延にならないよう入居者への丁寧な説明と対応を密に実施していく。また、建設材料の物価高騰については、単価の動向を把握しつつ適正に対応していきたい。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	都市計画費一般管理事業							事業コード	080401510203		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立				
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931		
事業担当	所属	350500 建設交通部都市・交通課				所属長	川島 奈都代				
会計情報	款	08土木費	項	04都市計画費	目	01都市計画総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	174	頁
計画期間	開始年度	昭和30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務	☑ 国府補助事業	☑ 市単独事業	☑ 内部庶務的事業	☐ その他 （ ）						
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・本市は、本市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、都市計画法に基づく都市計画を定めて都市づくりを推進している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・本市の人口が減少傾向にあるなか、将来にわたって利便性の高い魅力的な都市を維持するため、計画的な土地利用を推進する必要がある。 ・都市計画の決定や変更にあたっては、都市の現状や課題を明確にしたうえで、住民等の理解を得ながら計画を推進する必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 本市の地域特性を活かし、まちづくりの基本的な課題の解決を図るため、将来を見据えた都市計画を定めて、秩序ある土地利用を促進するとともに、円滑な都市活動を支える都市施設の整備を推進し、都市計画マスタープランにまちの将来像として掲げる「安心して暮らせる、しなやかで強靭な都市」の実現をめざす。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・都市計画の決定等 ・都市計画審議会、景観審議会等の運営 ・都市計画関連手続きの許認可等 ・課の庶務 ・所管施設の維持管理業務（委託）

対象者	市民	対象者数	73,447	単位あたりコスト	1.0	
実施方法	☑ 直接実施	☑ 業務委託	☐ 指定管理	☐ 補助金交付	☐ その他 （ ）	
委託先・実施主体等	石原自治会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報酬	176	都市計画審議会委員報酬	使用料及び賃借料	7	高速道路使用料、施設使用料
報償費	10	都市計画審議会公募委員選考会選考委員謝礼	備品購入費	215	モノクロレーザープリンタ購入
旅費	124	事務打合せ、研修費等旅費ほか	負担金補助及び交付金	263	各種協議会等年会費
需用費	1,037	事務用品、書籍等購入、ガソリン代、法定点検修繕料ほか	公課費	8	自動車重量税
役務費	312	郵送料、手数料、保険料、電話料			
委託料	24	JR石原駅自転車等駐輪場管理業務			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	3,442	2,597	2,451	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		3,442	2,597	2,451	
予算財源内訳	① 一般財源	2,303	1,784	1,314	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	73	79	134	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	1,066	734	1,003	
決算情報	① 流充用額	0	△ 226		
	② 配当予算	3,442	2,371		
	③ 執行額	2,283	2,176		
	④ 執行率	66.3%	91.8%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	6.22 / 2.10	7.90 / 2.35	/	/
	② 概算人件費	55,640	69,780		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		57,923	71,956		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
区画整理成果証明手数料	都市計画手数料	86	13	
都市計画関係証明手数料	都市計画手数料	8	13	
奥書証明手数料	都市計画手数料	1	13	
屋外広告物許可申請手数料	都市計画手数料	814	13	
土地利用規制対策交付金	土木費府補助金	79	26	
都市計画図書	物品売払収入	21	32	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	0	1	0	4		
	・都市計画決定または変更	目標値		0	1	1	4	3	
		達成度	%	－	100%	0%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	1	1	1	2		
	・都市計画審議会の開催	当初見込		2	3	2	2	2	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・都市計画マスタープランに掲げる目標を達成するための都市計画決定等をめざした積極的な取組み ・地域の個別の課題に対応するための説明会や勉強会の開催 ・都市計画関連手続きの厳格な運用								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・都市計画審議会等の経費や事務用消耗品が大半を占める本予算事業は、恒常的に欠かすことのできない事業であり、今後も継続的な運営が望まれる。 ・限られた予算や時間を有効に活用し、市民サービスの向上をめざし、各種手続きのオンライン申請等に対応する必要がある。
現状の課題に対する改善策	・都市計画図は、計画的な修正と合わせて、市民のニーズに対応した効果的な情報提供方法を確立するため、オープンデータ化の検討を進める。 ・関係法令の規定に基づく届出や許可申請等の手続きのオンライン化に積極的に対応する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	既設公園管理事業							事業コード	080404530201		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立				
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931		
事業担当	所属	350500 建設交通部都市・交通課				所属長	川島 奈都代				
会計情報	款	08土木費	項	04都市計画費	目	04公園管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	176	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	都市公園法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	公園施設長寿命化対策事業、福知山市動物園活性化事業、長田野工業団地利活用増進事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 公園は、良好な都市環境、災害時の防災拠点、レクリエーションや健康運動、文化活動、地域間の交流・連携の拠点など、さまざまな役割を併せ持つオープンスペースであり、市民活動の場を適切かつ安全に維持管理することは必要不可欠である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 公園の施設の老朽化や、物価高騰による年々維持管理費用の増加 都市公園に対する多様なニーズ、多機能性への対応 公園管理にかかる人材不足を補うため効率化が必要
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 都市公園及び三和町の公園を適正に維持管理を行うことで、安心・安全な公園環境を提供する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・指定管理者制度により、公園の柔軟な管理運営を図る。 ・公園灯のLED化及びリース契約により、事務経費及び維持管理費の削減を図る。

対象者	市民	対象者数	73,447	単位あたりコスト	3.0
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☑ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	公益財団法人 福知山市都市緑化協会、公益社団法人 福知山市シルバー人材センター、株式会社エイト日本技術開発福知山営業所				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報酬	19	福知山市指定管理者等選定委員会に係る委員報酬	工事請負費	733	公園防草工事
旅費	16	講習会、委員会に係る交通費	備品購入費	216	公園ベンチ購入
需用費	2,604	上下水道料、電気料、消耗品購入費、備品等修繕費	負担金補助及び交付金	185	土地改良施設維持管理適正化事業負担金
役務費	931	損害保険料、草等処分手数料			
委託料	191,674	指定管理業務、公園清掃維持管理業務、測量設計業務			
使用料及び賃借料	4,833	LED公園照明灯賃貸借料、公用車賃貸料			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	185,552	205,208	228,071	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	90,150	0	0	0
	前年度繰越	90,150	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		275,702	205,208	228,071	
予算財源内訳	① 一般財源	170,585	170,831	211,967	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	420	420	0	
	④ 地方債	90,100	19,500	0	
	⑤ その他特財	14,597	14,457	16,104	
決算情報	① 流充用額	0	19		
	② 配当予算	275,702	205,227		
	③ 執行額	264,278	201,211		
	④ 執行率	95.9%	98.0%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.90 / 1.15	1.65 / 1.10	/	/
	② 概算人件費	10,420	16,280		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		274,698	217,491		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	都市公園占用料	土木使用料	4,305	9	
	野生鳥獣救護事業	土木費府委託金	420	28	
	自動販売機設置貸付収入（都市・交通課管理公園）	財産貸付収入	6,739	31	
	三段池公園ネーミングライツ料（都市・交通課）	雑入	2,420	41	
	既設公園管理事業（緊急自然災害防止対策）	土木債	19,300	52	
	ほか		1,227		

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	333,614	389,845	420,270	420,051		
	都市公園利用者数（有料施設）	目標値		500,000	500,000	500,000	525,000	550,000	
		達成度	%	67%	78%	84%	80%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	箇所	92	92	92	92		
	指定管理者制度により管理運営する公園数	当初見込		92	92	92	92	92	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	指定管理者制度により効率的な維持管理及び有料施設の管理運営を行う								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・近年の物価高騰により、施設の維持管理費や運営費は増加傾向にある。 ・近年の酷暑等の気象状況により、科学館の室内遊び場としてのニーズは高まってきている。 ・同様に、近年の酷暑等の気象状況により、動物園は屋外施設としての弱さが出てきている。 ・植物園では、緑化啓発や集客増に向けて、三段池公園内での講座開催だけでなく、小学校や公民館での出張講座も開催している。
現状の課題に対する改善策	・公園利用者のニーズを把握し、管理運営等を改善していくことにより、公園利用者の増加を図る。 ・動物園、科学館、植物園だけでなく、スポーツ施設とも連携を強めることにより、三段池公園一帯として一層の集客を図る。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	福知山市動物園活性化事業							事業コード	080405202301		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立				
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931		
事業担当	所属	350500 建設交通部都市・交通課				所属長	川島 奈都代				
会計情報	款	08土木費	項	04都市計画費	目	05公園施設費	会計	01 一般会計	決算附属資料	177	頁
計画期間	開始年度	令和5年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	都市公園法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	既設公園管理事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・福知山市動物園は本市において主要な観光施設の一つであり、施設改修等により活性化していくことで、三段池公園全体の賑わい創出につなげていく
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・開園から47年が経過していることから、施設の老朽化が進んでいる。 ・ハード面だけでなく、動物の見せ方や、イベント実施など来園者を飽きさせない工夫が必要 ・近年動物福祉の観点から、動物の飼養状況についても求められるレベルが高くなってきている。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 本市において主要な観光施設の一つである、福知山市動物園について施設の整備や改修を行うことにより、利用者満足度や利便性の向上を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 福知山市動物園駐車場新設に伴う用地買収及び設計業務

対象者	来園者	対象者数	80,000人（目標）	単位あたりコスト	—
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	有限会社アシマ				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
委託料	4,398	動物園駐車場設計業務			
公有財産購入費	5,524	土地購入費			
備品購入費	100	展示用動物購入			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	34,440	13,800	11,200	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		34,440	13,800	11,200	
予算財源内訳	① 一般財源	0	1,400	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	27,000	12,400	10,000	
	⑤ その他特財	7,440	0	1,200	
決算情報	① 流充用額	0	△ 2,371		
	② 配当予算	34,440	11,429		
	③ 執行額	33,568	10,022		
	④ 執行率	97.5%	87.7%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.15 / 0.00	0.05 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	1,200	400		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		34,768	10,422		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	福知山市動物園活性化事業（地域活性化）	土木債	8,900	52	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	－	61,293	61,167	62,350		
	来園者数	目標値		－	67,500	70,000	75,000	80,000	
		達成度	%	－	91%	87%	83%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	－	11	43	53		
	計画施設の整備率	当初見込		－	11	44	58	100	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	計画的な施設整備の実施								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・集客を増やすには、施設整備や改修などハード整備を進めていくのと同時に、施設運営面での飽きさせない工夫や、本市動物園ならではの強みをもっとPRしていく必要がある。
現状の課題に対する改善策	・積極的な広報等により動物園の魅力をアピールし、集客増につなげていく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	公園施設長寿命化対策事業							事業コード	080405530260		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立				
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931		
事業担当	所属	350500 建設交通部都市・交通課				所属長	川島 奈都代				
会計情報	款	08土木費	項	04都市計画費	目	05公園施設費	会計	01 一般会計	決算附属資料	177	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市公園施設長寿命化計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	都市公園法										
事業区分	☐ 法定受託事務	☑ 国府補助事業	☐ 市単独事業	☐ 内部庶務的事業	☐ その他 （ ）						
関連事業	既設公園管理事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 計画的な施設改修や更新は、公園施設に係るトータルコストの低減の観点だけでなく、利用者が安心して安全に利用できる公園環境を確保していくうえで必要である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 公園施設長寿命化計画により、施設の健全度判定を行っており、災害時における役割や、利用頻度、利用者ニーズなども考慮し、優先順位により事業を進めていく必要がある。 施設によっては国庫補助の対象とならないものもあるほか、年々改修や更新が必要な施設は増加傾向にある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 公園施設長寿命化計画に基づいた施設改修により、安心・安全な公園環境の確保や、公園施設に係るトータルコストの低減を目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・三段池公園　都市緑化植物園内のボイラー更新工事 ・各街区公園に設置された遊具及びフェンスの改修工事

対象者	市民	対象者数	73,447	単位あたりコスト	0.7
実施方法	☑ 直接実施	☐ 業務委託	☐ 指定管理	☐ 補助金交付	☐ その他 （ ）
委託先・実施主体等	アオイ管材株式会社、株式会社冨士興業、株式会社油利総合設備				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
工事請負費	50,936	公園遊具・フェンス等更新			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		42,000	48,800	29,900	0
	② 補正予算		13,000	30,000	0	0
	③ 繰越予算		0	△ 30,000	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	△ 30,000	0	0
小計（①～③）			55,000	48,800	29,900	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		26,000	15,500	13,400	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		26,100	29,900	14,700	
	⑤ その他特財		2,900	3,400	1,800	
決算情報	① 流充用額		0	2,371		
	② 配当予算		55,000	51,171		
	③ 執行額		54,445	50,936		
	④ 執行率		99.0%	99.5%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.35 / 0.00	0.10 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		2,800	800		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			57,245	51,736		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	公園施設長寿命化対策事業（防災・安全交付金）	土木費国庫補助金	15,020	18	
	公園施設長寿命化対策事業基金繰入（公共施設等総合管理基金）	基金繰入金	3,815	37	
	公園施設長寿命化対策事業（公共事業等）	土木債	13,500	52	
	公共施設長寿命化対策事業（公適・長寿命化）	土木債	18,600	52	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	0	0	0	0		
	公園施設の老朽化に起因する事故件数	目標値		0	0	0	0	0	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	4	7	7	3		
	長寿命化対策工事の実施件数	当初見込		6	6	6	6	6	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	老朽化した公園施設の更新・改修工事の実施								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・利用頻度や要望を踏まえ、更新を実施している。 ・施設の老朽化は年々進んでいくため、有効な財源を確保していく必要がある。
現状の課題に対する改善策	国庫補助等の有効な財源を確保していく。